

# にしむろアグリ情報



## ■普及指導計画の取り組み ～気象条件等に対応した果樹産地の振興～

西牟婁地域はウメを核としたカンキツとの複合経営が主であるが、近年、温暖化や秋季以降の長雨の影響を受けやすく、これらの気象条件等に対応した栽培技術の普及による安定生産が課題となっています。このため、平成30年度からの3カ年、果樹の普及指導計画としてJA紀南や試験研究機関と連携し、ウメの安定生産と新たな需要拡大、温州ミカンの新品種「YN26」の栽培実証と導入面積拡大に取り組みましたのでその成果についてご紹介します。

ウメ「南高」の摘心栽培は、充電式バリカンにより省力的に処理できることを紹介することで、導入面積は8.6haに増えました。「古城」の安定生産は、早期摘果樹が慣行摘果樹に比べてヤニ果の発生が少なくなり、正品率が増えました。また、受粉樹には「橙高」と「八郎」が有望であることが判明しました。「橙高」栽培実証園では早期成園化に向けた管理を継続しており、今年産（6年生樹）の収量は10a換算で約480kgと目標の約8割を達成しました。収穫した果実は、梅酒製造メーカーで梅酒に加工・販売されており好評を得ています。また、ウメの新たな需要拡大に向けて、ピューレ状の果肉を料理やお菓子に加工する試みを地元高校や飲食店の協力を得ながら進めています。

温州ミカン「YN26」の栽培面積は、平成31年苗木販売分の換算で13.2haと徐々に拡大しています。栽培実証園の今年産収量は10a換算で約3.1tと順調に増えています。



摘心処理講習会（中三柄）



「橙高」実証園（上芳養）



「YN26」実証園（上富田町）

西牟婁振興局農林水産振興部農業水産振興課

● ADD：〒646-8580 和歌山県田辺市朝日ヶ丘23-1

TEL：0739-26-7941（栽培技術・経営相談、新規就農支援、食育推進など）

TEL：0739-22-1443（補助事業、鳥獣害対策・狩猟、農地貸借、農家民泊、養蜂など）

FAX：0739-26-7945

URL：<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/130600/130651/index/index.html>

※ 「にしむろアグリ情報」に関するお問い合わせは、上記電話番号へお願いします。

### ■天敵利用によるイチゴのハダニ防除効果の取り組み

西牟婁地域では、栽培戸数 14 戸、栽培面積 1.8ha で市場や直売所向けにイチゴが栽培されています。イチゴの栽培期間は育苗期を含めると 10 か月以上と長く、ハダニ類はその全期間で発生します。主要な殺ダニ剤は使用回数が少なく、またハダニ類は薬剤抵抗性の発達が著しく早いため、殺ダニ剤のみで防除するのが困難な状況です。

このため、当課では J A 紀南イチゴ部会と連携して、薬剤によるハダニ類の防除体系に天敵を導入し、防除効果を確認しました。取り組みの結果、ハダニ類の発生はほとんど見られず、薬剤による防除回数を大幅に減らすことが出来ました。



天敵の放飼状況



部会員による現地検討会

### ■ミョウガ根茎腐敗病の薬剤防除実証試験の取り組み

ミョウガはウメなど果樹との複合経営品目の 1 つとして、田辺市の山間部において栽培され、主に J A で塩漬け（一次加工）を行い、県外の漬物加工業者へ出荷されています。近年、重要病害である根茎腐敗病が発生し、9 月の収穫時期までに株が枯死して収量が減少しています。このため、当課では、昨年度から田辺市秋津川において、J A 紀南みょうが研究会と連携して、同病害に対する薬剤防除実証試験を行っています。

これまでの結果から、薬剤だけでは防除が困難な病害であるため、今後は薬剤防除に加え、薬剤以外の資材の併用など、効果的な防除対策を検討したいと考えています。



部会員による現地検討会

### ■ホオズキ栽培実証試験の取り組み

西牟婁地域ではお盆の切り花として、直売所向けにホオズキが栽培されています。ホオズキの栽培は、前作のほ場から掘りあげた地下茎を利用して作付けが行われていますが、この方法では土壌病害やウイルス等をほ場に持ち込む危険性が高く、また、立ち枯れなどの発生が多いことから、生産者から対策が要望されています。このため、当課では、他産地で実施されている実生苗から無病の地下茎を養成する栽培法を、生産者や J A 紀南営農指導員と検討しています。今年 2 月の定植に向けて、昨年 9 月に播種し、ポットに鉢上げした実生苗の地下茎を養成しています。



実生苗の地下茎



鉢上げ作業

## ■イタドリ栽培展示ほの取り組みと苗の供給体制の確立

山間地域で耕作放棄地が増える中、身近で手軽に栽培できるイタドリに着目し、平成 27 年 6 月に田辺市龍神村に 0.2a の栽培展示ほを設置し、栽培を推進してきました。その結果、田辺市、白浜町、上富田町で新たに栽培面積が 34a 増えました。

また、林業試験場で選抜された多収で皮のむきやすい優良系統株が、(一財)バイオセンター中津において組織培養により増殖され、令和 2 年 6 月から優良系統苗として販売が開始されました。今年度分は既に完売しましたが、来年度も販売される予定です。



栽培展示ほ（田辺市龍神村）

## ■農業経営の発展を応援します～農業経営発展サポート事業の紹介～

法人化、経営継承、経営規模拡大、販路開拓や 6 次産業化などの様々な課題に対応するため、農業者の皆さんの相談ニーズに応じた「専門アドバイザー」を無料で派遣し、課題解決をサポートします。

こんな時にご活用ください！

- ◎法人化により規模拡大や信用力強化を目指したい。
- ◎経営継承について相談したい。
- ◎雇用したいが就業規則や社会保険が分からない。
- ◎農産物の加工品を開発し、6 次産業化を目指したい。など

### 本事業の活用事例

皿田竜一さん（平成 25 年就農）

田辺市中芳養で新たに果樹栽培を始め、将来は両親の農業経営を継承する予定です。

規模拡大など経営発展の相談に本事業を活用され、将来の課題を整理し、農地の集約等により効率的な経営を目指しています。



詳しくは、振興局の担当窓口までお問い合わせください。

## ■西牟婁地方 4H クラブ活動紹介 園地巡回研修を実施

西牟婁地方 4H クラブ連絡協議会（会長：小谷将之）では生産技術等を共有し、各々の経営発展に活かすため、クラブ員間での園地巡回研修を実施しました。

クラブ員の園地や梅の加工場を見学し、鳥獣害対策や今後の経営計画などについて積極的な意見交換が行われました。

当課では今後とも同協議会の自主的な活動を支援していきます。



梅干し場を見学するクラブ員

## 令和2年秋の褒章 受章者の紹介

### ■上村 誠 氏（白浜町市鹿野） 黄綬褒章



茶の栽培一筋に取り組み、優良品種「やぶきた」の栽培技術を地域に定着させ、生産性の向上に貢献されました。また、小規模の産地で勝負するため、本場静岡で研修を積み、高い品質と製茶技術の結晶である「川添茶」ブランドの確立および地域特産物の振興に尽力されました。

現在は1.3haの茶を栽培されるとともに、県内他産地の農家への技術指導にも尽力されています。また、消費者を対象に「お茶農家のお茶会」などを開催し、お茶を飲む文化の普及に取り組まれています。

### ■「鳥獣被害防止に向けた集中捕獲キャンペーン」和歌山県決起集会を開催

和歌山県猟友会、和歌山県、田辺市は令和2年12月6日に、農作物への被害防止を目的とした有害鳥獣の捕獲を推進するため、田辺市立武道館にて決起集会を開催しました。鳥獣捕獲緊急対策議員連盟会長の二階俊博自由民主党幹事長らを来賓に迎え、狩猟者、自治体関係者など約250人が集まりました。

出席した狩猟者からは「皆さんの激励を受け、より一層、農作物に害を及ぼす野生鳥獣の捕獲に取り組みたい」などの声があがりました。



狩猟者に激励を行う仁坂知事

### ■県内で初確認 野生イノシシの『豚熱』感染

令和2年10月30日、和歌山県紀の川市で捕獲された野生のイノシシ2頭について、県内初となる豚熱感染が確認されました。県内養豚場では令和2年6月からワクチン接種を実施しているため、豚の移動や出荷が制限されることはありません。



養豚場でのワクチン接種

現在、感染拡大予防のため、発生地域周辺でのイノシシ肉の流通自粛を呼びかけ、追加調査を進めています。発生地域など最新情報は、和歌山県畜産課ホームページをご確認ください。

『豚熱関連情報』

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070400/csf.html>

※豚熱は、豚、イノシシの病気であり、人に感染することはありません。